

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	8 健康・福祉
----	---------

評価責任者	所属	保健福祉長寿局 健康福祉部 障害福祉企画課
	氏名	課長 戸塚 直子

政策	3 障がいの有無に関わらず地域で共に暮らすことができる社会を推進します
----	-------------------------------------

施策	1 充実した社会生活のための支援の推進
----	---------------------

施策の目的	障がいのある人一人ひとりが、自らの意志に基づいて、自身の生き方を選択し、社会、経済、文化、その他のあらゆる活動に積極的に参加できるよう、参加の機会や手段を確保するとともに、社会への参加を制限している障壁を除去し、地域の一員としていきいきと暮らしていくことができる環境づくりに取り組みます。
-------	--

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業である公共施設を活用した授産製品の普及支援は、移動支援事業のいずれも計画どおり事業を実施し、成果指標である福祉施設から一般就労への移行者数、移動支援事業の利用者数／月平均のいずれも令和元年度の目標値を上回る成果となった。障がいのある方の社会貢献活動の機会を提供するとともに、社会参加のための手段を確保することができ、地域で暮らす環境づくりに取り組むことができたため、「A」評価とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。 A：施策の目的が達成されている。 B：施策の目的があまり達成されていない。 C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
	成果指標	福祉施設から一般就労への移行者数	72人 (平成26年度)	1	102人	118人	115.7%	a
2				108人	—	—	—	
3				114人	—	—	—	
4				120人	—	—	—	
移動支援事業の利用者数／月平均		632人 (平成28年度)	1	716人	717人	100.1%	a	
			2	744人	—	—	—	
			3	772人	—	—	—	
			4	800人	—	—	—	
指標成果以外の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、 a：95%以上105%未満、 b：85%以上95%未満、 c：70%以上85%未満、 d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
公共施設を活用した授産製品の普及支援	① 市内の就労継続支援等の障害福祉サービス事業所で構成される任意団体「わ・ハハ」・「はなみずき」が各区役所で授産製品を展示・販売するための支援の実施 ② 上記「わ・ハハ」が静岡庁舎3階の改装された食堂にて、授産製品を販売できるための支援の実施。	2	1	0	0	0	0.1	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
移動支援事業	①障害者等が移動支援の利用に要する一部費用の助成事務 ②制度としての運用 ③国の動向を受け、市としての支援の在り方を検討	1	1	191,781,000	0	172,675,940	1.0	1.0	1.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	・移動支援事業においては、ヘルパー不足が課題となっている。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、活動を控えることが予想されるため、社会参加の機会の確保について検討する必要がある。	・移動支援に従事するヘルパー養成研修を実施する。 ・国の動向等を注視しつつ、対応を検討していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	8 健康・福祉
----	---------

政策	3 障がいの有無に関わらず地域で共に暮らすことができる社会を推進します
----	-------------------------------------

施策	2 障がいを理解し、支え合う環境づくり
----	---------------------

施策の目的	日常生活や社会生活において、障がいの有無に関わらず、相互にかけがいのない個人として尊重し、お互いを理解し、認め合うことが大切です。地域、学校、職場等における、障がいのある人との関わりを通して、障がいへの差別や偏見がなくなるよう、障がいに対する理解の促進に取り組みます。
-------	--

評価責任者	所属	保健福祉長寿局 健康福祉部 障害福祉企画課
	氏名	課長 戸塚 直子

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業である「心のバリアフリーイベント」、「障害者虐待防止対策支援事業」では新型コロナウイルス感染症防止対策のため、それぞれイベントや研修会を中止・延期したが、その他の事業は計画どおり実施することができた。また、成果指標である「障がいや障がいのある人に対して理解があると思う人の割合」、「『ヘルプマーク』を知っている人の割合」のいずれも目標値を上回ったことから、障がいに対する理解の促進ができていると考え、A評価とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	成果指標	障がいや障がいのある人に対して理解があると思う人の割合	45.3% (平成28年度)	1	44%	49.0%	111.4%	
2				48%	—	—	—	
3				52%	—	—	—	
4				55%	—	—	—	
「ヘルプマーク」を知っている人の割合		— (平成30年2月から実施)	1	20%	①障がいのある人 35.0% ②障がいのない人 31.6%	①175.0% ②158.0%	a	
			2	30%	—	—	—	
			3	40%	—	—	—	
			4	50%	—	—	—	
指標以外の成果	令和2年4月1日からの配布を目標として静岡市のヘルプカードを作成した。各区のキャラクターを記載した親しみやすいデザインの6面の折りたたみのカードとなっており、どのような配慮が必要か記入して持ち歩くことにより、支援や理解を得られやすくなる効果が見込まれる。							

※【評価基準】s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
心のバリアフリーイベント	障害者週間（12月3日～12月9日）における啓発活動の実施 ※令和2年3月28日の心のバリアフリーイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	2	1	1,400	0	117	0.5	0.1	0.0	△
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
障害者虐待防止対策支援事業	①虐待時の対応のための体制整備 ②専門性の強化 ③連携協力体制の整備 ④普及啓発	1	1	3,418	0	2,793	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	・心のバリアフリーイベントにおける障がいのある人と障がいのない人の交流は、共生社会の実現に向けて不可欠のものであるため、「新しい生活様式」に対応したイベントの在り方を検討する必要がある。 ・障がい者虐待対応のための一時的な居場所の確保が困難となる場合がある。	・新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、イベントの縮小、内容の変更等を検討し、障がいのある人と障がいのない人の交流の機会を確保する。 ・虐待対応のための空床確保について検討していく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	8 健康・福祉
----	---------

評価責任者	所属	保健福祉長寿局 健康福祉部 障害福祉企画課
	氏名	課長 戸塚 直子

政策	3 障がいの有無に関わらず地域で共に暮らすことができる社会を推進します
----	-------------------------------------

施策	3 生涯を通じて、安心して生活できる支援体制の充実
----	---------------------------

施策の目的	障がいのある人とその家族が、住み慣れた地域で、個々の状態に合わせた必要な支援を受け、心身共に健康な生活を送ることができるよう、障害福祉サービスをはじめとした支援体制の充実に取り組んでいきます。また、地域生活における安心・安全を確保するために、都市環境のバリアフリー化の推進等、関係団体、地域住民、企業、行政との協働により誰もが快適で暮らしやすいまちづくりに取り組みます。
-------	---

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	障害者相談支援事業、障害者福祉施設整備事業、精神障害者地域移行支援事業などの施策を構成する主要事業について、支援体制の充実に向けて計画的に実施しており、成果指標を総合的に判断し、施策全体として概ね目標を達成しているため「A」評価とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	64人	65人	101.6%	a	
成果指標	(知的・身体) 入所施設からの地域生活移行者数（平成27年から令和4年度まで延べ）	53人 (平成27年度から平成30年度までの地域生活移行者数の累計数)	2	75人	—	—	—	(知的・身体) 入所施設からの地域生活移行者数の目標値は、計画期間中の延べ移行者数とし、H34で延べ103人を目標とする（H27～29は延べ46人。H30～32は延べ29人。H33～34は個別計画未策定であるが、H30～32期間の1年当たり移行者目標14人×2年間。）。
			3	89人	—	—	—	
			4	103人	—	—	—	
			1	90%以上維持	95.6%	106.0%	s	
	2	90%以上維持	—	—	—			
	3	90%以上維持	—	—	—			
	4	90%以上維持	—	—	—			
	相談支援事業における利用者満足度	91.7% (平成29年度)	1	90%以上維持	100%	100%	a	安定した高い満足度を確保したいため、90%以上維持を目標とする。
			2	90%以上維持	—	—	—	
			3	90%以上維持	—	—	—	
			4	90%以上維持	—	—	—	
	指標以外の							

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
発達障害者支援事業	①発達障害者支援センターの運営 ②関係機関の連携体制の整備・強化 ③早期発達支援事業の親子教室の実施	4	1	51,117	0	51,090	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
医療的ケア児等支援事業	医療的ケアの必要な児童や重症心身障がい児(者)の各ライフステージに応じた支援体制の構築に向けた「静岡市医療的ケア児等支援協議会」の運営	6	1	451	0	390	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
ライフサポート事業	重宿泊型又は日帰りショートステイの実施に対する助成 ・宿泊型 午後5時から翌朝午前9時まで(1泊) ・日帰り 午後5時から午後12時まで(1時間以上)	10	1	1294	0	979	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
障害者福祉施設整備事業	社会福祉法人等が行う障害者福祉施設の整備に対する補助	8	1	105,590	0	96,740	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
障害者指定管理施設維持管理事業	障害者指定管理施設の維持・修繕	11	1	383,925	0	381,959	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
障害者相談支援事業	①委託による相談支援事業(日常生活に係る一般相談)の実施 ②障害者自立支援協議会の運営	1	1	84,980	0	84,239	0.5	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
難病医療費支給等支援事業(難病対策事業の実施)	①在宅療養支援計画策定・評価事業 ②訪問相談事業 ③医療相談事業 ④特定医療費の支給 ⑤難病相談支援センターの設置 ⑥難病対策地域協議会の設置	7	1	818,283	0	774,183	5.5	2.9	1.5	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
精神障害者地域移行支援事業	相談支援事業所に専任職員を配置し、精神科病院からの退院・地域移行を支援(各区に1カ所設置する地域生活支援センター等の業務の1つとして実施)	2	1	95,142の一部	0	95,142の一部	3.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
精神障害者退院後支援事業	措置入院者等の退院後の社会復帰や自立に向けた計画の策定及び支援	9	1	920	0	86	1.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
発達早期支援事業	1歳半健診から発達の気になる子を超早期に発見し、アセスメントを行い(あそびのひろば)、子どもに応じた支援(ばすてるひろば)につなぐ支援の実施	5	1	14,561	0	14,203	0.4	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
地域生活支援拠点等整備事業	障がい者の生活を地域全体で支えるためのサービス提供体制を構築	3	1	5,827	0	5,777	0.1	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、—:計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	障がい福祉サービス等の必要なサービス量の見込とその量を確保するための方策を定める障がい者福祉計画及び障がい児福祉計画（障がい者福祉計画と一体的に障がい者共生のまちづくり計画として策定）が令和2年度で期間満了となるため、総合計画と整合性を保ちつつ、新たな目標を設定する必要がある。	厚生労働省が定める指針を踏まえつつ、静岡市の実情に沿った目標値を設定する。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—